

## 中国の医師 15 名、インフルエンザ等の院内感染対策を学ぶ！

国際協力機構（JICA）が中国を対象に実施する研修「感染症予防及び対策」の一環として、中日友好病院等の 15 名の医師が静岡県立静岡がんセンターを訪問し、インフルエンザ等の院内感染対策を学びます。

静岡がんセンターには、中国長春市で生まれ育ち、帰国後医師となられ、公私ともに中国と深い絆を持っておられる安達 勇医師（緩和医療科 参与、日中医学協会副会長を兼任）が在籍されています。安達医師は、JICA による研修や、日中笹川医学奨学金にて来日した学生の指導教官を多く引き受け、中国の医療分野の指導者層となる人材育成に尽力されています。今回の静岡がんセンター視察も安達医師のご厚意により実現したものです。

本研修の目的は、1) パンデミックインフルエンザの予防および発生時の早期封じ込め対策、2) 感染症の早期診断・治療・蔓延防止、および 3) 薬剤耐性菌対策を含む院内感染症対策の強化、について日本の体制を講義ならびに病院見学により理解することです。参加者は北京の日中友好病院に加え、チベットや内モンゴルなど中国各地の病院の感染症科から派遣されます。本研修を通じて日本の対策の実際を理解し、中国におけるインフルエンザ等の感染症対策に生かされることを期待しています。

取材可能なプログラムは以下のとおりです。ぜひ取材をご検討ください。

日時		内容	場所
12月11日 (火)	10:30-11:30	静岡県立静岡がんセンター概要・日本のがん事情（安達医師）	静岡県立静岡がんセンター 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1007 番地 <a href="https://www.scchr.jp/index.html">https://www.scchr.jp/index.html</a>
	11:30-12:30	昼食	
	12:30-14:00	がん患者と感染症（倉井感染症内科部長）	同上
	14:00-14:40	化学療法・支持療法センター、緩和外来、患者サロン、図書館、陽子線治療棟見学	同上

※ご取材希望の方は、事前に以下までお申し込みください。なお、その際、取材形態（撮影のみか、インタビューがあるのか）をお知らせください。また、撮影不可の箇所がありますので、取材当日は静岡がんセンターの指示に従うようお願いいたします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京 加藤、須賀

TEL 03-3485-7469 e-mail : Kato.Megumi@jica.go.jp

※当日のご連絡先：

静岡県立静岡がんセンター マネジメントセンター 丸茂（055-989-5222（代））

【研修概要】

研修期間：2018年12月3日 来日～2018年12月12日 離日

研修参加者：中日友好病院等の医師15名（予定）